



山開き

自然の美しさと豊かな恵みをもたらす山は、昔から人々にとって信仰の対象となっていました。過去においては、信仰の山の中には女人禁制のところもありました。そういった山（霊山）に信仰行事として夏場の限られた日に登ることができたのが山開きの由来です。6月から7月にかけて、いよいよ本格的な夏山シーズンが到来し、各地の山で山開きが行われています。がけ崩れ、地すべりなどの危険が起きないように事前調査がなされ整備された山に、防寒着も含めた機能的な服装、登山用品・救急用品などの持ち物をきちんと準備してから登りましょう。



子ども歳時記

日本には、季節にちなんで行われる行事や風習が数多くあります。それぞれに理由や目的があり、人々の願いが込められています。



9月

防災の日（9月1日）

防災の日は1923年9月1日に起きた関東大震災の教訓を忘れないように制定されました。この日は自治体、地域、学校などで避難訓練、防災訓練が行われます。家庭でも地震や台風などの災害時の避難場所、連絡の取り方、持ち出す物、役割の分担など決めておきましょう。また、地域の避難場所の確認も日頃からしておきましょう。非常持ち出し袋には、食料品、ミネラルウォーター、懐中電灯、乾電池、携帯ラジオ、下着、衛生用品（生理用品・オムツ）、タオル、ティッシュ、救急用品、常備薬、貴重品（印鑑・通帳）、ポリ袋、軍手などを入れます。

福祉住環境コーディネーター
引地



子育て親育ちエッセンス

サークル「やんちゃんこ」
代表 濱田 英世

よく、こんな話を聞きます。

「うちの子、人前に出たらおとなしいの。だから…」
「早く集団にいれたら社会性が身につくらしいよ。だから…」
“だから” 少しでも早くどこかへ入会・入園の方がよいと言うのです。家庭によって、さまざまな形態や事情、考え方があるので、「必ずこれ」という正解があるわけではありません。ただ、私はやはり子どもの気持ちを考えてしまうのです。

はずかしがり屋さんが、突然たくさんの人の中に入って、急に活発な子どもになるでしょうか？ 反対に不安を感じたり、余計に慎重になったりすることが多々あります。大人でも知らない人の中に入ると、ドキドキしますよね。子どもは大人の何倍ものドキドキを感じます。その気持ちを思うと、単に活発にさせたいからという理由はいかがでしょうか。

もう一つの“社会性を身につけるために”ということについても同じことが言えます。まだ、生まれて2年や3年、この年齢の子どもたちの社会性とはいったい何でしょう。まだまだ自分の周りの小さな世界の中にいる時期です。楽しいおもちゃは自分の物、人のおもちゃも自分の物だと思っている時期です。この年齢で“はい、どうぞお先にお使いください”や“一緒に仲よく遊びましょう”などといった社会性は、とうてい望めません。この時期の社会性は、しいて言うなら“ご飯をちゃんと座って食べられること”や、“靴下が一人ではけること”、“ありがとうやさやうならが言えること”といった基本的な生活習慣のことだと思うのです。そして、それを教えるのは基本、家庭です。基本的な生活習慣を教えるために集団に入れるというのはいかがでしょうか。

もちろん、集団で覚えていくこともたくさんあります。保育所や幼稚園を否定しているわけではありません。ただ、家庭で教えた

り、しつぱたりしなければならぬことを、小さい時から早く集団に入れた方が身につくと勘違いしていることに問題があると思うのです。

何も知らない子どもたちには、まだまだ教えることがたくさんあります。それは特別なことではなく、毎日の何気ないことの繰り返しから始まります。家庭は社会の最初の単位なのです。まずは家できちんと振る舞わせることが大切です。たとえば、ていねいに物を使うこと、“順番”“交代”を守ること、トイレや洗面所をきれいに使うことなど、そんな場面はいくらでも毎日の生活の中にありますよね。“うちがうち”というキッパリとした態度を示し、しつけていくことが私たち親の務めではないでしょうか。

毎日毎日、子どもと悪戦苦闘して、大変な思いもよく分かります。だからといって、しつぱまで他人まかせにはしてほしくないと思います。お母さん！どうか一人で抱え込まないで、つどいの広場、子育てサークル、園庭解放、公民館での交流事業などの施設や機会を利用したり、地域の皆さんから知恵や協力をもらったりしてください。そうやって、みんなで子育てしていきましょう！



わいわいステーション（利用料：無料）サークル「やんちゃんこ」
場 所：南塚町2-4-23 アラカサビル4階
も同じビルでの活動です

（阪急塚口駅より東へ徒歩1分）

開 室：火～土 10:00～16:00

TEL・FAX：06-6421-8841

<http://www1.ocn.ne.jp/children/index.html>

